

思い出の写真で綴る30年の歩み

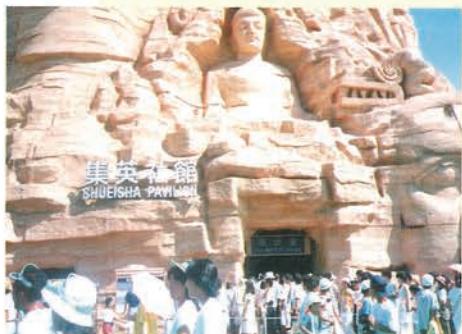


東京都害虫ねずみ駆除消毒事業協同組合創立記念 昭和43年8月14日 斎代々木記念館

東京都害虫ねずみ駆除消毒事業協同組合設立(昭和43年)



昭和60年神戸花博。左から湯澤初代会長、酒徳兵庫県協会会長、元木顧問、林2代目会長。



科学万博つくばEXPO'85では、東京PCO協会も施設の害虫防除に活躍。侵入害虫を同定し防除の戦略を立てて科学的防除の先駆けとなりました。



昭和49年前後の虫魂祭。



写真右端が湯澤初代会長。



昭和39年に開催された第18回オリンピック東京大会では、東京のPCOグループが代々木選手村を中心とした衛生管理業務を受託、行政側からの指導助言もあり、これを契機に法人組織化への動きが高まりました。

思い出の写真で繰る30年の歩み

第6回 わずみ・衛生害虫防除業の従事者研修会
 主催：(社)東京都ベストコントロール協会
 協賛：(社)日本ベストコントロール協会
 (社)全国ビルメンテナンス協会



昭和 56 年 12 月、ビル管理法に基づく「第 1 回ねずみ・衛生害虫防除業の従事者研修会」を(社)東京ビルメンテナンス協会と共に開催しました。以後、毎年開催し、平成 11 年で 19 回を数えます。上の写真は 2 代目・林会長の挨拶です。



昭和 61 年、害虫相談所を開設。相談員研修会を開催し、資質の向上に努力しています。写真は第 10 回の研修会の会場。右上は三宅会長の挨拶。右下は、玉田委員長の説明場面です。



平成 4 年には 6 月 4 日を「虫の日」と定め、新宿駅構内でパネル展示やスズメバチのビデオ放映を行い、マスコミの取材もあって大きな反響を呼びました。以後、毎年、中野区役所前、新宿西口都民広場、新宿ステーションスクエアでチラシの配布、害虫相談などのイベントを開催しています。



平成8年から管理者研修がはじまりました。
写真は経営コンサルタントで顧問の片野先生。

平成7年から、鑑札制度を定めた殺虫消毒条例が廃止され、防除業者の資質の向上を図るために、毎年、都と共に講習会を開催しています。
写真は都庁大会議室。



毎年十二月に行われる研修旅行会。
講習会のあとビールの味は格別です。
なお、右下は昭和四十九年の熱
川での懇親会風景。



平成11年にプリズムホールで行われた環衛フェアに出展しました。



会員の親睦・交流と健康増進のためのゴルフの会(東京PC会)は今年の6月で78回を開催した伝統の大会です。写真は昭和54年に習志野カントリーで開催した時のものです。



思い出の写真で繰る30年の歩み



創立 25 周年記念式典ならびにパーティー写真です。壇上は三宅会長。場所は 30 周年記念式典と同じ新宿京王プラザホテルです。



上は説明にあたる元木副会長



上は三宅会長、下は湯沢副会長



平成 11 年 4 月の感染症法の施行を受けて、当協会は感染症予防衛生隊を組織し、マニュアルを作成、講習会を開催し、安全かつ効果的に消毒業務を遂行する体制を整えました。現在までに 18 区と契約を交わしています。本年 4 月に行われた講習会の風景と施工時のモデルです。



日比谷公会堂入口の立看板

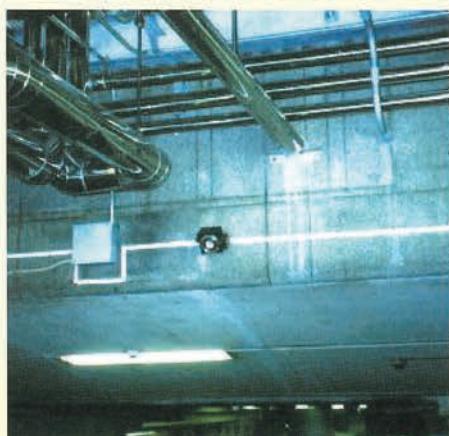


全国の環境衛生関係者が一堂に集う「ねずみ・衛生害虫駆除研究協議会」の20周年記念大会が、昭和61年度に日比谷公会堂で、平成7年度には30周年記念大会が東京の国立教育会館で、いずれも協会を挙げて後援し、盛大に開催されました。



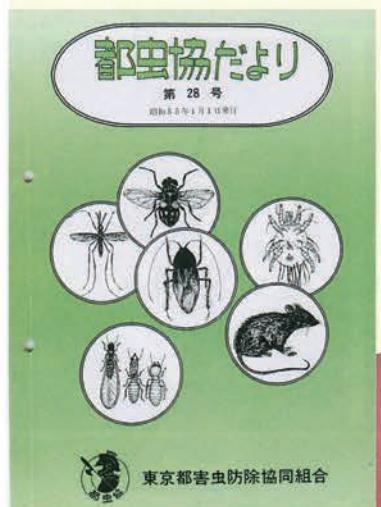
毎年行われる協会主催のビル管理法指定従事者研修会でも、賛助会員により機器・薬剤が展示され、受講者の技術向上に役立っています。10点の写真は従事者研修会(科学技術館サイエンスホールのロビー)での展示風景。

思い出の写真で繰る30年の歩み

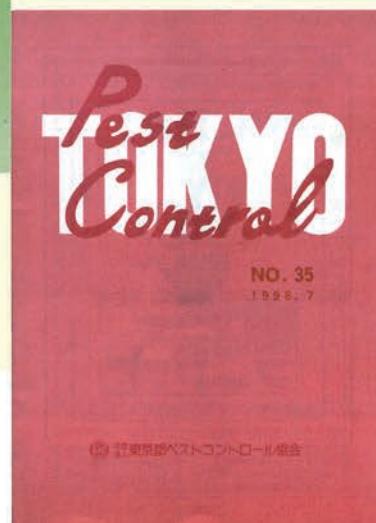


害虫用薬剤・機材、施工技術は、この30年間で長足の進歩を遂げましたが、昭和61年のクロルデン使用禁止を皮切りに環境保護の観点から殺虫剤一辺倒に疑問が生じ、以後総合防除(IPM)の考え方方に転換しつつあります。防除も旧来の全面散布から重点施工(クラック&クレビス)へ、事前点検、効果調査が重視されてきています。

東京のPCOはビルにクマネズミが繁殖し、ネズミ問題で苦労しています。最近では動物用ですが、第2世代の抗凝血剤であるプロマジオン(ラニラット)が発売されたり、超音波防鼠機や防鼠工事を取り入れたIPMの方向に向かっています。防除写真は(社)日本ベストコントロール協会「害虫スライド集」より(撮影:其田益成氏)



機関誌「都虫協だより」から現在の「Pest Control TOKYO」まで、協会の機関誌として大きな役割を果たしています。



リーフレット PCO シリーズ
第1号として「リバイバルして
きたシラミ」を皮切りに、こ
れまで9号を発行し、各市区
町村の行政の窓口に配布して
います。

